

町のさまざまな話題を、カメラで追いかけてます。

Photo Palette

皆さんの身近で起きた出来事や楽しい話題、イベントなどの情報を「広報おうら」編集部まで、お気軽にお寄せください。☎47-5007

けっこうな
お点前
でした



Best Shot

3月13~14日、ヤングプラザで第20回おうらヤングフェスティバルが行われ、会場内には、親子連れなど約3,200人が訪れました。ヤングプラザで活動しているサークルが、日ごろの練習成果を発表。舞台発表や作品展示、模擬店などを行いました。瀬間日菜多さん(前橋市)は、「お茶会や七宝焼きの体験ができて、とても楽しかったです。来年もぜひ体験したいです」と話してくれました。



食べるの、もったいない



2月27日、邑楽町公民館で親子おひなさま料理教室が行われました。子どもたちは、楽しそうにおひなさまづくり挑戦。五十木千姫さん(前瀬戸宿・8区)は、「おひなさまのおすしが、かわいくできあがりました。何だか食べるのが、もったいないです」と話してくれました。

熱のこもった歌声を♪



3月6日、長柄公民館で第21回邑楽町吹奏楽とコーラスの集いが行われました。熱のこもった演奏と合唱が披露されました。佐藤隆さん(上下西宿・7区)は、「参加した皆さんの一生懸命な演奏と合唱に感動しました。来年も、ぜひ聴きにきたいですね」と話していました。

みんな、息を合わせて！



3月7日、町民体育館でスポーツ少年団交流会が行われました。参加した各スポーツ少年団の子どもたちは、ソフトバレーボールや輪投げ、長縄跳びなどの競技を行い、お互いの親ほくを深めあっていました。会場内には、元気な子どもたちの掛け声が響き渡っていました。

町の歴史 連載三百四十一回

町の年代記

43 ◆ 歴史研究家 細谷清吉

◇町の歴史 連載三百四十一回◇◇◇◇◇
細谷右馬助秀国(正平二年(一三三七)~
細谷右馬助秀国(正平二年(一三三七)~
に、丹後国与謝郡の籠神社(京都府宮津市の
元伊勢籠神社)から、今の邑楽町篠塚上坪谷
へ観請した「籠宮神社」は、泉福寺の山号となり、
寺の守護神でもありました。
泉福寺とともに南北朝時代から室町時代・
江戸時代を経て現在まで、坪谷・水立・大黒
の地元神として尊崇されてきました。
江戸時代度々の御検地帳には、「籠宮大明神、

縦三十三間 横八間、泉福寺持主」とあり、
泉福寺境内六百六十坪とは別に、籠宮大明神
二百六十四坪の宮敷地を有しておりました。
寄進田証文の事には、「一、下田七歩、名所
柳原通通り、右は私持田の内、籠宮大明神御洗
米料に寄進仕り候、宝暦七年丁丑(一七五七)
二月、寄進人、同村、八郎兵衛」
この寄進状の「名所柳原」とあるのは、延
宝三年(一七五五)の篠塚村水帳(検地帳)
によると、中田二十二筆、下田四十七筆があり、
上坪谷南西の今の柳原たんぼのことで、南は
千代田村福島の相谷たんぼの鞍掛丘陵、東は
邑楽町八丁、西南は新福寺の猿街道宝林寺裏
の六道の辻に通ずる名所でした。

この柳原通りは細谷館の西部で、北は篠塚
長柄神社で、南は新福寺、西は吉田・仙石方
面に通じていました。文化十一年(八一四)
の「奉修、籠宮大明神」という祈願文などが
あります。
明治初年の神仏分離令のため、泉福寺から
分離して坪谷・水立・大黒の共有として、泉
福寺稲荷社とともに、独立した神社となりま
した。社号は籠宮稲荷神社となり、現在の社
殿は、昭和十二年に新築されました。奥殿には、
籠宮神社と稲荷神社の小宮二座が、安置され
ています。
なお、稲荷神社は安永二年(一七七三)、正
月豊日に泉福寺が城州紀伊郡の本社から勧請



籠宮稲荷神社の記念碑(篠塚坪谷)